



## 8 29 その歴史は新十津川の歩みそのもの 尚武会復活100周年記念式典

スポーツセンターで尚武会復活100周年記念式典が開かれ、剣士ら120人が参列しました。尚武会は新十津川の開拓初期に結成され、日露戦争中に一度活動を中止したものの、明治43年に再結成されて、今年で100年を迎えました。十津川村の村上次郎副村長は「明治26年には演武場が建てられており、人々の剣道への情熱を感じます。心技礼節を重んじる剣道を通じて、両町村の交流が深まることを期待しています」と祝辞を述べました。

式典後には、十津川剣道クラブと尚武会の交流試合が行われ、剣士たちは竹刀を交えて日ごろの鍛錬の成果を競い合いました。

(結果は10ページ)

## 8 20 中学生の甲子園で 惜しくも初戦敗退

岡山県倉敷市で開催された全国中学校軟式野球大会に、新十津川中学校野球部が初出場を果たしました。試合は、栃木県の上三川中に0・3で敗れましたが、詰めかけた応援団からは「よく頑張った」と温かい拍手が送られました。





## 8 26 盛大に長寿をお祝い

喜寿と満79歳以上の方、379人が出席して、新十津川長寿を祝う会が改善センターで開催されました。

代表して、百歳の山本實さん、及川キミエさんらが記念品を受け取りました。また、慶祝者代表で喜寿の富田忠義さんが「苦しいことも多々あり、食うや食わずのときもあった」と戦前、戦中、戦後と、厳しい時代を生き抜いた世代の実感あふれるあいさつをしていました。



## 8 13,14 名誉町民逝く

名誉町民の澁川勝石さん（90歳）の逝去を受けて、改善センターで町葬が営まれ、のべ600人の参列者が故人との別れを惜しみました。

澁川さんは、大正9年2月、新十津川村字上徳富の生まれ。27歳の若さで助役に就任し、43歳からは新十津川町第2代町長として16年間にわたって町の発展に力を注ぎました。

こうした功績が認められ、昭和54年に藍綬褒章、平成2年に町特別功労表彰、平成3年には勲5等双光旭日章など、多くの表彰を受けました。



## 8 27 若さの秘訣はスポーツ

町体育協会が改善センターで親睦交流会を開き、230人の来場者でにぎわいました。

交流会の冒頭で、長年にわたりスポーツの伸展に貢献したゲートボール連盟の佐々木金治さん、ハーフトennis協会の松原聡さん、ソフトボール協会の大井和夫さんが表彰を受けました。

佐々木さんは「ゲートボールは体も頭も使うスポーツです。試合になるとハッスルして、自然に声が大きくなります。若く生きたい方は、ゲートボールを始めてみてください」と話していました。

